

平成29年度第1回志木市社会教育委員会議録

平成29年6月6日（火）

午後1時30分～3時

4階 全員協議会室

出席者 委員：齊藤奈都子、竹前榮二、宮原正幸、一ノ倉達也、小笠原順子、
安部卯内、星野久江、市之瀬初男、名児耶一子、稲垣真紀、
松永義晃

（順不同、敬称略）

市：土岐教育政策部長、

生涯学習課（小日向課長、浅見主査、武井主査、松永主任）

1 開 会 浅見主査

2 委嘱状交付式：松永義晃（志木市立学校PTA連合会）
交付：土岐教育政策部長

3 あいさつ 齊藤奈都子議長
土岐教育政策部長

4 自己紹介 （出席委員及び市職員）

5 協議事項

（1）平成29年度志木市社会教育関係補助金について

- ・運営費補助金について
- ・事業費補助金について

事務局より説明

社会教育法第13条に基づき、社会教育団体に補助金を交付する場合は、教育委員会が社会教育委員から意見を伺わなければならない。

今回の運営費及び事業費補助金の算出は例年通りの方法で行った。
平成29年度の運営活動費補助金の主な団体補助金支給額案について説明。
次に事業補助について説明。13団体から申請があった。新規の団体はなし。
補助額は一律3万6千円である。

以上

- (議長) 事務局からのご説明に対し、質問はないか。
(委員) 事業費の補助金交付額は、前年度と同額か。
(事務局) 同額である。

(2) ・志木市生涯学習推進指針の検証について

事務局より説明

志木市の生涯学習関連事業の検証についてご意見を伺いたい。
対象事業については、生涯学習に関連のある255の事業で実施機関は、社会教育施設、教育委員会、子育て関連施設、市長部局、などである。対象は、幼児と親の事業が58事業、子どもや青少年の事業が54事業、大人対象の事業が80事業、高齢者対象が15事業、その他どなたでも参加可能事業が48事業である。課題としては、成人の学習として、退職後の人が地域で活動するなど学びのきっかけづくりの強化が必要と考える。生涯学習課としての取り組みについては、気軽に参加できるサークル公開日などの事業を実施できるよう社会教育施設担当者会議に提案している。また、グループサークル情報についても入りたい人の為だけでなく、指導する出前講座など学びを生かす情報も取り入れた情報誌にすることも検討している。

- (委員) 参加者の合計人数は何人か。
(事務局) 事業の内容によっては、人数だけでとらえることのできない事業もあるため、集計はしていない。
(委員) この検証結果は、生涯学習課関連だけか。民間の事業は入っていないか。
(事務局) 民間は入っていない。公共の事業のみである。
(委員) 児童センターや宗岡子育て支援センターで実施予定だった防災教室は、町内会で開催している防災訓練と内容は一緒ではないか。
(委員) 弱者や子どもと母親などが避難するための訓練ではないか。
(委員) この検証調書は、事業を始めたが時期が記載されていないので、始めた時期も項目として増やしたらどうか。
(委員) この検証調書はいつから始めたものか。
(事務局) 生涯学習指針の検証は、今回からである。
(委員) 実施しなかった事業については、実施しなかった理由についても記載してほしい。

(3) あいさつ標語のしおり活用について

事務局より説明

平成26年7月、前志木市社会教育委員会会議において、「あいさつ運動」

の推進についての提言が提出された。志木市教育委員会として、あいさつの標語「あいさつで みんなが笑顔の 志木のまち」を掲載した啓発物資としてのしおりを作成した。

そのしおりについては、社会教育関係団体等へ配布し、あいさつの励行を呼びかけている。

昨年、子ども議会であいさつ運動についての質問がされ、増刷分としてしおりを作成し、今後の活用について、委員の皆様よりご意見をいただきたい。

(委員) 子ども議会の質問がきっかけならば、高学年の子どもたちに配布したらどうか。

(事務局) 枚数にかぎりがあり、不足分をどうするか検討が必要。

(委員) 学童保育への配布はどうか。

(委員) 学校の図書室や図書館の児童書コーナーなどはどうか。

(事務局) ご意見を参考にさせていただき活用方法を決めていく。

(3) その他

(議長) その他、事務局から連絡があるか。

(事務局) 6点の連絡事項がある。

① 関東甲信越静社会教育研究大会日程について

静岡県沼津市で開催。日程は11月16日(木)詳細については後日通知を発送する。

② 富士吉田文化講演交流会について

講師は、山梨県立富士山世界遺産センター学芸員の堀内眞さん。日時は、7月16日(日)午後2時～4時を予定している。

③ 人権研修会の開催について

人権研修会を6月26日市民会館で開催する。テーマは「中世・戦国時代からの草づくりの歴史と社会の変化」で講師は、作家・ルポライターの川元祥一さんを予定。

人権作文集ころについて

「人権作文集ころ」と南部地区人権教育推進協議会で作成している広報誌「人権教育」ができたので配布した。

④ 子ども大学しきについて

小学4年生から6年生を対象。子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する内容となっている。

十文字女子大学、朝霞青年会議所と志木市教育委員会が共催で実施する。

⑤ 次回の日程について

次回の会議ですが、8月8日（火）で予定している。

4 閉 会 竹前副議長